



論文式試験合格への道(その1)

～学習ステップと学習方法について～

TAC監査論講師
公認会計士 岡田 健司



皆さんに与えられている学習教材

- 2023年合格目標学習教材
 - 上級テキスト
 - 論文対策問題集
 - 直前講義テキスト(改正論点对応 (例)倫理規則等)
- 論文対策講義別配布資料(主に、Q&A集「考える監査論」)
- 論文答練(基礎・応用・直前) & 公開模試
- 論文式試験の過去問(公認会計士・監査審査会)(※)
- (当日配布されるものを模した)法令基準集

(※) 解答用紙を含み、「出題の趣旨」も公表されます。
なお、過去問が公表されたのは平成25年度以降分です。



まずはじめに(やってはいけないこと)

- × テキストや問題集(※)の丸暗記 → 効率が悪く、**無駄・不要**。
- × 答練、模試、過去問の模範解答の丸暗記 → 効率が悪く、**無駄・不要**。
- × 監査基準報告書や法令基準集(※)の通読 → 効率が超悪く、**無駄・不要**。
- × 曖昧な知識の拡大 → **曖昧な知識はむしろ有害で無用**。

× ダメよダメダメ！

(※) 暗記についての注意点

但し、監査基準前文及び本文の一部など正確な暗記が必要なものもあります。

「**法令基準集に掲載されない重要な規定や趣旨・目的**」が暗記対象になるので、暗記すべきものとそうでないものの線引きを、あらかじめ正確にしておきましょう（後で触れます。）。



まず、どうしよう？？？

- ☺ 最新の「出題範囲の要旨」(令和4年10月7日版(※))をダウンロード！
- ☺ 論文対策問題集をゲット！（それぞれの重要性は大橋T論対①レジュメ参照）
- ☺ 過去問(出題趣旨含む。)を5年分ダウンロードして本試験のレベル感を知ろう！
- ☺ 法令基準集を購入！（令和5年3月頃に必ず最終版を購入してください。）
- ☺ バランスをとった、無茶のない学習計画を作成！

(※) 令和5年1月中に暫定版、令和5年4月に確定版が公表される予定です。
なお、令和5年度第Ⅱ回短答式試験及び論文式試験については、令和5年4月1日現在
(租税法は、令和5年1月1日現在) 施行(適用)の法令等によるものとされています。



監査論で有効だと思う日常の学習方法(概要)

- ☺ 誰かとor独り言でテキスト、答練、Q&A集、過去問等の論点について、自分の理解を、「端的に一言で」、「末広がりに」、「声」に出して言う方法(＝スピーキング方式)



他者が納得・理解できることが大事！説明できないこと＝理解できてない

- ☺ Q&A集、答練、模試、過去問の各問題あるいは目次から、関係するキーワードをすべて書き出ししてみる方法(＝キーワード・ワンポイント方式)。例えば、監査の必要性etc



試験突破に当たり、関連する論点やキーワードを正確に漏れなく引出せることが大事！

- ☺ 流れが大切な論点、複雑な論点はシンプルな図に置き換えて、図で理解・暗記する方法(＝図式化方式)。例えば、授業で扱った会計上の見積りetc

図は視覚的にも覚えやすい、複雑なものほどシンプルな図に置き換えるのが大事！



合格答案を書くために必要な力(概要)

- ① 問題内容、設問の正確な理解（＝**読解力**）
- ② 出題意図の推測（＝**読解力・推理力**）
- ③ 解答に必要な論点及びキーワードの引出し（※）（＝**引出力**）
- ④ ③の論点・キーワードによる記述の流れの整理（＝**下書力**）
- ⑤ 正確で丁寧な論述（＝**記述力**）

★①～③が「**考える力**」で、④⑤が「**書く力**」です。

（※）本番で「**『法令基準集』を使いこなす力**」（☆）も必要です。

☆本番で「『法令基準集』を使いこなす力とは。→具体的には（その2）で解説します。

- ① 各基準書が何を規定したものかの暗記（例：600「グループ監査」＝連結監査時の考慮事項）
- ② 各基準書がどういう体系になっているのかを知っておく（＝必要な規定を抜き出せる）。



合格答案を書くために必要な力の身につけ方

- ①「**読解力**」は、問題集、答練で養う。
- ②「**推理力**」も、問題集、答練で養う。
- ③「**引出力**」は、テキスト及び問題集でイン、答練等であウト。
 - ※ 最終的にはテキストを**絵**として思い出せるようにする。
 - ※ 最終的にはテキストを宝探しの**地図**にする（**目次学習**が有効）。
- ④「**下書力**」は、問題集、答練で養う。
- ⑤「**記述力**」は、答練を通じて講師から指導を受ける。

※注意点

必ずしも①～④は答案用紙に書かなくてもよい。例えば、効率的に勉強するなら、ポイントだけ書く、誰かとポイントを言い合うなどの方法が有効。



具体的に、皆さんに必要なこと(インプット編)

☺ インプット

- 「**出題範囲の要旨**」の「網掛け部分」(論文出題範囲)や別紙の「**過去問のプロット図**」を眺めます。
- **重要度が高い箇所を把握**し、該当するテキストと「Q&A集(「考える監査論」)」を理解します。
- 「**Q&A集(「考える監査論」)**」をインプット教材の補足とし、各論点のつながりや監査全体の流れも整理して、ぶつ切りの知識をまとめていきます。
- 暗記が必要な箇所は、「丸暗記」箇所or「ポイントのみ暗記」でよい箇所を**区別して暗記**します
- できるだけ「**上級テキスト**」に**情報を集約**し、回転教材を作ります(目安はいったん4月初旬まで)！

集約する情報は暗記の要否、論点間のつながり(テキストの関連する頁数)などです。

- 日頃から「**法令基準集**」を横に置いておき**検索**する癖をつけましょう(×通読不要)。
- 最終的には「**上級テキスト**」を**ぶん回し**し、テキストを絵・画像として頭に残していきます。



具体的に、皆さんに必要なこと(アウトプット編)

😊 アウトプット

□ 日頃のインプット及びアウトプットの成果を「**答練**」で確かめます。

□ 「答案」では次のことを振り返りましょう。

☆ 基礎問題or標準問題or応用問題、合格者が解く問題orそうでない問題が区別できましたか。

☆ 合格者が必ず解く問題＝基礎問題and標準問題は優先的に解答しましたか。

☆ その問題は正答できましたか。⇒これができていなかったら**インプット不足!**

☆ また、答案構成において次の事項ができていましたか？

読解力

引出力

－ この問題を解くための「**重要コンセプト**」、「**キーワード**」はすべて思い出せましたか？

－ この問題で聞いたかった「**出題者の意図**」は想像できましたか？

推理力

－ 「下書き(キーワードのつながり・流れ)」は正しかったですか。

下書力



【参考】答練や過去問で自問するとよい項目

問い掛け・その1

この問題は法令基準集に答えとなる規定があるかどうかを判断しなさい。

問い掛け・その2

この問題で問われている論点、重要コンセプトは何か書き出しなさい。

問い掛け・その3

この問題を解くために必ず書くべきキーワードは何か書き出しなさい。

答案や過去問演習を通じて、以下の力を徐々に養ってください。

①読解力

②推理力

③引出力

④下書力

⑤記述力



試験当日の心構え

☺ 空欄は絶対に作らない。何か絶対に書いて帰る(空欄はどう転んでもゼロ)。



過去の試験委員の声 「**空欄には、何があっても点を与えられない。**」

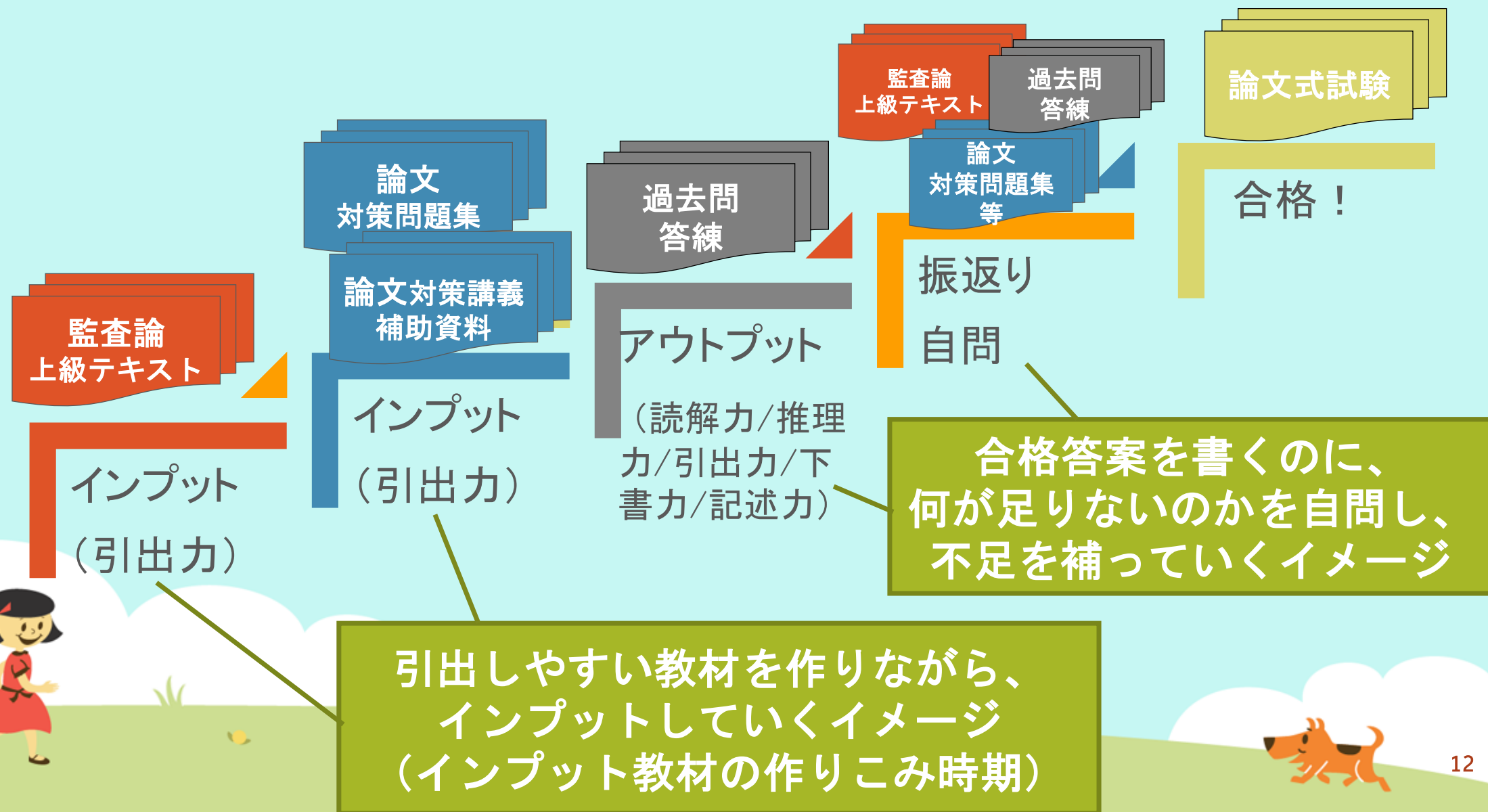
☺ 必ず答案の最後は、「。」(句点)で終わる(「。」で終わったものが答案)。

☺ できるだけ楷書で丁寧に書くことを心がける(試験委員も人間、疲れる)。

☺ 最後の1分1秒まで答案を書く。絶対に最後まで諦めない。



学習のステップ(イメージ)



絶対に合格して
会計士になろう！



絶対合格宣言！